

容器プラR施設が完成

国内最大規模の材料R

一極・完結型システム

産廃・一廃の収集運搬、中間処理、リサイクル、最終処分を手掛ける富山環境整備（富山市）は、容器包装プラスチックの再生処理施設（第4工場）をこれまでの経験と知識の集大成として完成させた。すでに財日本容器包装リサイクル協会の認定を受け、容リプラの再

商品化事業では国内最大規模となる材料リサイクルを展開する。製造した材料は自社工場で成型加工し、リパース製品として販売。リパースシステムと呼ばれる独自のリサイクルシステムで、幅広い受注基盤を形成している。材料リサイクルの処理フローは、原料ベ-

ルの解砕、異物の手選別、破砕、風力選別、湿式比重選別（自沈・遠心分離）（第4工場では風力選別後の異物を比重分離する工程を新設）、脱水、乾燥、造粒で、工場排水は隣接する処理施設にて生物処理後、循環利用する。

処理残さは、事業所内の廃棄物発電併用型焼却施設の燃料として有効利用し、国内唯一の容リプラの一極集中・完結型のリサイクルを展開している。

成型加工ラインは1000トプレス1台と3000トプレス5台で年間70万枚のパレット製造を進める。成型加工ラインは独自設計で、プラスチック関連機器の販売を行うコーハン（名古屋市中）が技術

支援し、各種の再生製品の販売窓口となり商社などへ販売され、全国規模で流通している。現在は物流用のリパースパレット（エコマーク登録商品）の製造が主流だが、新製品であるOAフロアー（床パネル）も備えており、「リパースブランド」としての納入実績を伸ばす。

新設した第4工場



同社は、富山市の処分業の許可において産業廃棄物処理業者の優良性の判断に係る評価基準の適合を受け、リパース工場ではISO9001、14001の取得により、品質・環境管理に重点を置いている。また、地域住民や容リプラ落札自治体などの施設の見学も随時受け入れリサイクルの必要性など環境教育にも重点を置いている。今後、容リプラの処理コスト削減に一層取り組むとともに、新たなリサイクル製品の開発、製造および販売を強化する考え。